

2021年 **6月12日** **土** **10:30 - 17:30**

～日本語・英語同時通訳～

ハイブリッド開催

(会場及びオンライン会議を併用)

※来場にてご参加される場合

法務省国際法務総合センター国際会議場A
(東京都昭島市もくせいの杜2-1-18)

※会場については、新型コロナウイルス感染症対策により、人数制限を実施予定

新たな時代の法整備支援 ～ICD創設20周年を機として～



主催：法務省法務総合研究所
独立行政法人国際協力機構（JICA）

後援：最高裁判所
日本弁護士連合会
独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所
公益財団法人国際民商事法センター（ICCLC）

プログラム

開会挨拶等 10:30-10:50

法務省法務副大臣
法務総合研究所長
JICA理事

田所 嘉徳
上富 敏伸
中村 俊之

ICD20周年祝辞メッセージ 10:50-11:20

第1部 基調講演 11:20-12:00

名古屋大学名誉教授

森嶋 昭夫

昼食休憩 12:00-13:00

第2部 活動報告 13:00-14:30

法務省法務総合研究所国際協力部副部長
国連アジア極東犯罪防止研修所次長
JICAガバナンス・平和構築部ガバナンスグループ法・司法チーム参事役兼課長
公益財団法人国際民商事法センター (ICCLC) 理事長
名古屋大学法政国際教育協力研究センター (CALE) センター長
神戸大学社会システムイノベーションセンター教授
日本弁護士連合会国際交流委員会幹事、弁護士・ICD非常勤弁護士
日本貿易振興機構 (JETRO) アジア経済研究所新領域研究センター法・制度研究グループ長

須田 大
入江 淳子
小林 洋輔
大野 恒太郎
藤本 亮
金子 由芳
石崎 明人
山田 美和

休憩 14:30-14:45

第3部 パネルディスカッション1 14:45-15:45

「日本の法整備支援を振り返って～ICD20周年を契機として～」

ーパネリストー

カンボジア王国司法省アドバイザー

法務総合研究所国際協力部副部長

東京弁護士会会長・日本弁護士連合会副会長 (日本弁護士連合会国際交流委員会元委員長)

公証人 (ICCLC顧問・ACPF副理事長)

ーモデレーターー

法務総合研究所国際協力部長

坂野 一生
須田 大
矢吹 公敏
山下 輝年

森永 太郎

休憩 15:45-16:00

第4部 パネルディスカッション2 16:00-17:15

「これからの法整備支援」

ーパネリストー

愛知県公立大学法人理事長・名古屋大学名誉教授

JICA国際協力専門員・弁護士

法務省大臣官房国際課長

慶應義塾大学大学院法務研究科教授

法務省法務総合研究所国際協力部長

ーモデレーターー

法務総合研究所国際協力部教官

鮎京 正訓
小松 健太
柴田 紀子
松尾 弘
森永 太郎

庄地 美菜子

質疑応答 17:15-17:25

閉会挨拶 17:25-17:30

公益財団法人国際民商事法センター (ICCLC) 理事長

大野 恒太郎

第1部 基調講演

基調講演

森 昭夫氏



法学者（民法・環境法）。1958年東京大学法学部卒業。1968年ハーバード・ロー・スクール大学院修了、1971年名古屋大学法学部教授、88年法学部長、96年名誉教授。国内外の大学で教鞭を執る傍ら、政府の各種審議会の委員等を歴任。我が国の法整備支援の道を拓いた。

第3部 パネルディスカッション1

「日本の法整備支援を振り返って
～ICD20周年を契機として～」

パネリスト

坂野 一生氏



カンボジア王国司法省アドバイザー。1992年にUNTAC（国連カンボジア暫定統治機構）選挙部門オフィサーとして勤務。1998年からJICA長期派遣専門家としてカンボジアの民法及び民事訴訟法の起草支援に携わる。堪能なクメール語の能力を生かし、カンボジアにおける法整備支援に大きく貢献している。2018年から現職。

須田 大



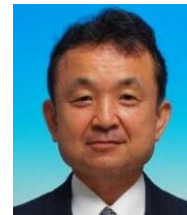
2001年検事任官。各地検での勤務を経て2013年からICD教官。2015年から約2年9か月間、JICA長期派遣専門家としてラオス人民民主共和国に派遣。帰国後、東京地検において勤務し、2021年4月から現職。

矢吹 公敏氏



日本国および米国ニューヨーク州弁護士。1995年から、ベトナム、カンボジア、ラオス、インドネシア、モンゴル、フィリピンなどの法整備支援（国際司法支援）に尽力。日本弁護士連合会国際交流委員会委員長などの要職を務め、日弁連の国際司法支援活動を牽引してきた。2021年4月から現職。

山下 輝年氏



1984年検事任官。退官までの32年間各地検に勤務したほか、法務省法務総合研究所勤務時にICDの立ち上げに尽力。その後、ICD部長、国連アジア極東犯罪防止研修所（UNAFEI）所長等の要職を歴任した。現在は、公証人（ICCLC顧問・ACPF副理事長）を務める。

モデレーター

森永 太郎



1994年検事任官。法務総合研究所国際協力部教官、佐賀地検次席検事、国連アジア極東犯罪防止研修所（UNAFEI）次長を経て、2017年10月から現職。2004年から約3年間JICA長期派遣専門家としてベトナム社会主義共和国司法省に派遣され、法制度整備支援に携わる。

第4部 パネルディスカッション2

「これからの法整備支援」

パネリスト



鮎京 正訓氏

法学者（ベトナム憲法史・アジア法）。愛知県公立大学法人理事長、名古屋大学名誉教授。同大学法政国際教育協力研究センター長、法学研究科長、副総長等要職を歴任し、2015年4月より現職。法整備支援分野、アジア法研究の第一人者であるとともに、若手研究者の育成にも尽力している。



小松 健太氏

弁護士（第二東京弁護士会）。民間企業や英国法律事務所での勤務を経て、2013年よりJICA国際協力専門員としてミャンマーをはじめとする各国の法整備支援に携わる。2014年から2017年までミャンマー長期派遣専門家。2019年より再びミャンマー長期派遣。



柴田 紀子氏

1998年検事任官。2006年から約2年間JICA長期派遣専門家としてカンボジア王国王立裁判官・検察官養成校に派遣。帰国後、ICD副部長等を歴任し、2015年から2年間国連薬物・犯罪事務所（UNODC）東南アジア太平洋地域事務所において犯罪防止・刑事司法担当官として国連機関における国際支援に尽力。2019年7月から現職。



松尾 弘氏

慶應義塾大学大学院法務研究科教授・慶應グローバル法研究所長。専門は民法、開発法学。シドニー大学客員教授、オックスフォード大学客員研究員、法制審議会幹事、社会資本整備審議会委員、国土審議会特別委員等を歴任。国内外の開発プロセスにおける法整備のあり方について、各国の歴史を踏まえた研究と実践に取り組んでいる。

森永 太郎

モデレーター

庄地 美菜子



2008年検事任官。各地検で勤務したほか、法務省保護局付検事として勤務。2020年よりICD教官を務める。